

## ② 新盆を迎える方へ

故人様のご供養のために

「ア～ウ」のご供養で皆様の真心をお伝えましょう。

(ア) 新盆供養を勤めてください P 2 参照

新盆供養法要

(イ) 新施餓鬼供養 P 3 参照

A 「新施餓鬼塔婆」をあげます。

B 法蔵院本尊様に供物、供物料を奉納してください。

C 「掛け袋供養/かけぶくろくよう」 してください。

(ウ) 家庭・墓所の供養 P 4 参照

大切な方がお浄土へ旅立たれ初めてのお盆を迎えます。

新盆とは 亡くなられた方が最初に迎えるお盆のことです。

故人様の初めてのお里帰りです。

ご供養は地域により異なりますが、形式にとらわれるよりも、

故人様を偲び供養する気持ちが大切です。

新盆を迎える方は以下の(ア)～(ウ)すべてお勤めください。

ご不明点はお問い合わせください。



五劫山 法蔵院

〒239-0843 横須賀市津久井1丁目12-5

電話 (046)848-0154 FAX 848-4415

## (ア)新盆供養

**(ア)新盆供養** 下記 ①～③.のいずれかのご供養を勤めてください。  
 故人様のお浄土からの初めてののお里帰りの供養が「新盆供養」です。  
 ※ 塔婆供養は施餓鬼会 8/17 で供養してください。右ページ参照→P3

養の方法と供養料(希望される場合は、お寺へ直接予約してください)

- ① 本堂で合同新盆供養。各回 5 組限定/要予約。**位牌持参。**  
 日程： **7/12・7/26・8/3 13:30～**  
           **8/13～8/15 18:30～**      8/13 残席少  
 お布施/供養料：20,000 円以上
- ② 下記スケジュールで、ご自宅、または本堂で供養します。  
 掲示の方以外で**個別供養希望は早々にお申出ください。**  
 お布施/供養料：20,000 円以上
- ③ 新盆供養は法要の際一緒に回向することも可能。  
 法要＝四十九日、百か日、一周忌等  
 6 月下旬～8 月下旬 頃まで  
 お布施/供養料：10,000 円以上



下記日程で、ご自宅へお伺い供養します。ご都合がつかない場合は再調整いたします。  
 日程変更は寺へご連絡ください。下記日程で仏壇の特別なお飾りは必要ありません。

	供養日程	命日	俗名	享年	戒名
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

- ※ 敬称略
- ※ ご供養の時間は目安です。当日の天候、交通事情で早遅します。
- ※ 葬儀等が入った場合、日程調整をお願いする場合があります。
- ※ 上記予めご了承ください

## (イ)新施餓鬼供養 8/17

- A 「新施餓鬼塔婆」をあげます。  
対象：施主、夫婦、親戚、子供、兄弟、独立している孫、知人等。
- B 施主様：故人様を導いていただく法蔵院本尊様に供物、供物料を奉納してください。
- C **掛け袋供養[かけぶくろくよう]** 下記参照 下記C覧参照  
故人様の初のお里帰りです。お米、雪駄等あげ供養します。

C **掛け袋供養[かけぶくろくよう]**：五千円/人

故人様の「掛け袋供養」(従来の「三角袋＝新盆セット」)を施主様に代わり、お寺が行います。ご希望の方は、8/8頃までにお申し出ください。

- ※ 施主様、ご家族、親戚があげてください。何人でも可。
- ※ 図1：施餓鬼会より一年間本堂に故人様の供養札掲示、供養します。
- ※ 図2：従来の新盆セット(三角袋に、白鼻緒の草履、扇子)はご準備いただくなくて結構です。

図1  
本堂内で一年間供養します



不要です

図2



## 掛け袋とは・・・？

故人様が、お浄土から生前のお住まいへ「初めてのお里帰り」です。  
掛け袋には、米、六文銭、扇子、雪駄をつけます。これには意味があります。



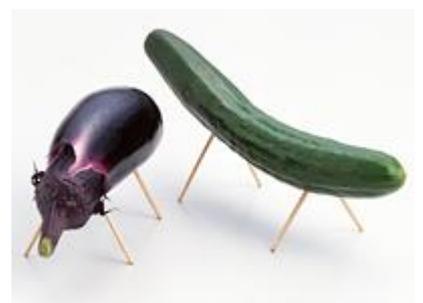
## 掛け袋には

戒名、俗名、寂年月日、年齢、施主名を記入、入れたお米を召し上がり、雪駄/セッタを履き、暑いので扇子/センスであおぎながらお浄土から私たちが日暮らしする娑婆(しゃば)へお帰りになる旅を続けます。もしもの為(三途の川の水が多い時には歩いて渡れないので船賃)に六文銭/ロクモンセン、穴の開いたお金、五円玉、五十円玉を六枚麻ひもに通し、お米を入れ三角袋を縫い合わせ、雪駄、扇子を一つに結び寺に奉納します。

時代の変化とともに、かけ袋をどのように準備したらいいかわからない？お米はどれくらい入れるの？戒名はどこに書くの？とのご意見もあり、法蔵院では寺が代わって準備供養いたします。期日までにお申し込みください。

他にもお盆なるほどがあります。

お盆の時期には、仏壇にきゅうり、なすに割り箸を4本差して、きゅうりは「馬」、なすは「牛」の代わりです。  
お浄土からのお里帰りには早く帰ってきたいので「馬」にお乗り頂き、お帰りはゆっくり「牛」に乗ってお帰りになられます。  
お盆の時期に仏様に捧げる仏事にはそれぞれ深い意味があります。  
どうぞ故人様を偲び、お盆、施餓鬼供養共にお迎えしましょう。



## (ウ) 家庭、墓所の供養

### (ウ-1)ご家庭で・・・

8/1～8/24 まで

夕暮れ後 30 分位、軒先/可能なら西側に白紋天提灯を吊るし、灯りをともします。

8/13～8/15 の三日間

仏様にご霊膳を朝お供えして、昼近くにさげます。

8/13 に迎え火 8/16 に送り火

火を焚き、故人様を迎え、送ります。俵禄の上でおがらを焼く。



### (ウ-2)墓所で・・・

8/13～8/15 の三日間、19：00～墓回向です。

墓回向の際、お墓に白紋天提灯をあげます。

俵禄/ほうろくの上でおがらを焼く。 1,000 円～楽天市場

おがらは「まこもセット」についている事が多い。

2,580 円～楽天



**まこもセット**



おがら  
ほうろく 素焼きのお皿

白紋天提灯/しろもんてんちょうちん (下図) 1,500 円位～

白紋天提灯はご先祖様がお帰りになる目印になる白い提灯です。上記の要領で供養した後、8/24 までつるした後ご家庭で保管、翌年の塔婆焼き供養の際収めてください。

白紋天は新盆の年だけ吊るします。仏具店、Amazon、楽天市場で購入可能。

提灯立て



ステンレス製特注品

27,000 円/工事費別

木製

6,000 円/工事不要

法蔵院にあり